札聾だより

http://www.sappororo.hokkaido-c.ed.jp

学校通信　第４号
令和４年（２０２２）６月２４日発行

発行人　北海道札幌聾学校
校　長　四木　定宏
TEL 011-716-2979
FAX 011-758-7617

HPはこちらです↓

「納得解（なっとくかい）」

教頭　宇野宏之祐

プルル！　プルル！　机上の電話がけたたましく鳴りました。受話器を取ると、幼稚部のＡ先生の切羽詰まった声が聞こえてきました。

「教頭先生、手を貸してください！」

事情を聞いてみると、「これから『しゅわっち自立（異学年合同で行っている自立活動の通称）』で体育館に子どもたちを連れていきたいが、児童デイサービスの職員とやりとりする必要があるため、指導者が子どもに付けない。安全面からも指導者不在の状況は、何としても避けなければならない。また、体育館では小学部の子どもたちや先生方が待っていて、遅くなると他学年や他学部に迷惑がかかってしまう。ついては、教頭に手を貸してもらえないか。」という内容でした。

私は、幼稚部の子どもたちと関わることができる機会をもらえたことをとてもうれしく思いました。しかし一方で「大丈夫だろうか」という不安感も覚えました。時々活動の様子を見に行っているとはいえ、普段関わりの薄い教頭が、短時間とはいえ、指導者として付くということは、幼児という発達を考えると、子どもたちにとっては非常に大きな環境の変化となります。

普段、接する機会の少ない大人と関わりながら、一つの目的に向けた行動を共にするということは、コミュニケーションの面でも、心理的な面でも、幼児にとっては一大事です。これまでの学校生活から共通理解されてきたクラスのルールを理解していない大人が指導者として関わることによって、普段できていることであっても、途端にできなくなってしまうことが十分あり得ると、私は考えたのです。

期待半分、不安半分の中、私は急いで幼稚部ホールに向かいました。

「（体育館に移動する際の並び方は）背の　じゅんばん！」と女の子。案の定、始まりました。

普段の学級では、その都度順番を決めて移動するのでしょう。一方で、別の男の子が異を唱えました。子どもの表情や表現から「背の順番だと、またあなたが一番になるでしょう。それじゃあ、僕が一番にはなれないじゃないか。別の順番（僕が１番になる順番）でも良いじゃないか。」といった幼児の気持ちが読み取れます。じっくり幼児の気持ちを引き出し、伝え合わせ、決めさせたいものですが、ここで時間をかけてしまうと、この子どもたちを待っている体育館に行けなくなってしまいます。

さあ、大変です。

結局、私の心配は取り越し苦労となりました。子どもたちは、幼稚部ホールでもめることよりも、体育館で待っている小学部の児童や、「しゅわっち自立」の活動に参加することを優先させ、子どもたちはしばらくやりとりした後、何事もなかったかのように整然と体育館に向い始めました。

わずかな時間でしたが、異なる考え方や価値観の違いがありつつも、目的達成に向けた行動を優先させるという、“大人の片鱗”が子どもたちに芽生えていることが分かりました。

今の社会は、VUCA（先いきが不透明で、将来の予測が困難）の社会とも言われています。こうした難しい時代を生きていくためには、時には価値観や考え方の違う他者と折り合いを付けていく力が必要となります。その場で最も優先すべきことを選択しつつ、互いの「納得解」を導き出すことのできる力が求められていると言えるでしょう。

J.デューイが、学校は小さな社会（小規模な社会）であると述べたことは有名な話ですが、小さな社会の中で、将来の社会の担い手として、子どもたちは着実に育っているようです。

７月予定表

１日（金）宿泊学習(小５　６月 30 日～)
　　校外学習(中２)
２日（土）中体連バドミントン全市大会(女子)
３日（日）英検①(２次)
　　中体連バドミントン全市大会(男子)
４日（月）朝会(小) 高等聾学校説明会(中３)
７日（木）なつまつり(幼３・４才)
　　お泊まり会(幼５才　～８日)
　　宿泊学習(中　～８日)
８日（金）休業日(幼３・４才)
１１日（月）ALT(小) 朝会(中)
１２日（火）２計測(幼)
１４日（木）修学旅行(小６　～15 日)
１５日（金）職場体験学習(中３)
２０日（水）誕生会(幼)
２１日（木）大掃除(小) PTA 拡大役員会
　　夏のレクリエーション(舎)
２２日（金）第１学期終業式
　　なつまつり(乳) 大掃除(中)
２３日（土）夏季休業(幼・小～８月 15 日、
　　中～８月 18 日)
２５日（月）英検補習(希望者～28 日)
２７日（水）中体連全道大会(バドミントン)

運動会を終えて(幼稚部)

６月１０日（金）に幼稚部の運動会が開催されました。青空の下、元気いっぱいに競技を行う事ができました。開会式では年長組さんが選手宣誓や『運動会の歌』を歌ってくれました。家族に見守られながら、どの子も練習の成果を発揮することができました。（文責：松田悦）

運動会の思い出(小学部)

６月３日（金）に小学部運動会が行われました。雨天が続き本番のグラウンドコンディションが心配でしたが、子どもたちの願いが届き無事開催することができました。今年度は「徒競走」「ダンス」「運命走」「紅白リレー」の１人４種目の参加で、肌寒い中、寒さを吹き飛ばすように一生懸命走り、最後までどちらが優勝するか手に汗握る内容となりました。結果は紅組が優勝でしたが１４０対１３８で本当に僅差でした。保護者の方々に見ていただき、子ども達も良い緊張感の中で学習の成果を発揮することができました。この経験を今後の活動に活かしていけたらと思います。保護者の皆様、平日のお忙しい中にも関わらず、応援に足を運んでいただき誠にありがとうございました。（文責：桑畠）

部活動紹介

バドミントン部

今年度の中学部バドミントン部は、１年生２名、２年生５名、３年生４名の計１１名で活動しています。中学部の全生徒数が１５名ですので、その２/３以上が所属していることになります。生徒の実績は、未経験者から全道大会で３位入賞する者まで、とても幅広いですが、普段の活動はレベル別にグループ分けしておりますので、生徒は自分の力量にあった練習に取り組めています。

６月２５日（土）、２６日（日）には、中体連北区南部予選が行われます。ここでベスト４以上に入ると、全市大会へ進出できますので、まずは予選突破を目指し、日々の練習に励んでいます。３年生は敗退時で部活引退となりますので、３年間培ってきた技術と体力、精神力を発揮して悔いのない結果を残してほしいと思います。引き続きバドミントン部への応援をよろしくお願いいたします。（文責：丸山）

陸上部

今年度中学部陸上部は２年生１名、３年生２名の計３名で活動しています。砲丸（投てき）、3000m（長距離）、100m（短距離）と様々な種目に分かれ、主にグラウンドで活動しています。

さて、今月の２５日（土）、２６日（日）には中体連選手権大会が行われます。選手全員が目標に掲げている、それぞれの自己ベストタイムを更新できるよう頑張ってきますので、応援をよろしくお願いいたします。（文責：貝沼）

令和４年度　第１学期終業式について

１　期　日　令和４年７月２２日（金）
　〔夏季休業日　幼稚部・小学部：令和４年７月２３日（土）～令和４年８月１５日（月）
　　中学部：令和４年７月２３日（土）～令和４年８月１８日（木）〕

２　日　程

（１）幼稚部	学級指導	９：３０～１０：００
	終業式	１０：００～１０：１５
	学級指導	１０：２０～１０：３０
	学級懇談	１０：３０～１１：００
	(下校時刻　３歳:１１：０５、４歳:１１：１０、５歳:１１：１５)	
（２）小学部	終業式	８：５０～　９：００
	学級指導	９：０５～　９：３５
	学級懇談、放課	９：４５～１０：３０
（３）中学部	１、２校時　授業	
	終業式	１０：４５～
	掃除・学級指導、放課	１１：００～１１：３５

※　下校時刻は、幼稚部３歳が１１時５分、４歳が１１時１０分、５歳が１１時１５分、小学部が１０時３０分、中学部が１１時３５分となっています。